## ずいそう

## AIって何?

## 京 免 継 彦

このところ、仕事もテレビも新聞も雑誌も、何でもかんでも「AI」「AI」とお祭り騒ぎの様相を呈していると感じます。ところで、じゃあ「AI」って何?となるとほとんどの人が首をかしげるのではないでしょうか。推察すると「AI」自体が非常に広義に使われている事と、ビジネスチャンスととらえ、よくわからないけど「とりあえず AI」みたいなものが合わさって、中身そっちのけでブーム化しているような気がします。もちろん本当に地道に取り組んでいる人達が沢山いらっしゃるわけですが、その方々から説明を受けても、まさにチンプンカンプンでして、これがまた「AI」をよくわからないモノにしているようです。ということで、最近少しカジっているものだから、書きたくてしょうがないわたくしが解説してみます。

一般的には「AI」=「人工知能」なわけですが、 もちろん人間並みに「自由な思考」をもつ「AI」は、 まだまだ遥か先の話です。近頃話題になってる現在の 「AI」の例を挙げてみます。

一番身近なものは、スマートフォンで使われる 「Siri」「しゃべってコンシェル」「ok! google」など、 答えてくれる系ですが「チャットボット」なんて言わ れています。中身は音声自動認識キーワードからデー タベースを検索してそれらしく答えているだけです。 ソフトバンクのペッパー君も似たようなものでしょ う。少し前に横浜市のゴミ処理場の「ゴミ分別方法 AI」で、夫の捨て方を質問したら諭されたなんて ニュースになっていました。今後、これ系が社会の中 にどんどこ入り込んでくるのだそうです。特に海外で は「人間」よりよっぽど親切丁寧に答えてくれると盛 り上がっているらしく、「AI」コールセンターとか目 指しているようです。なんとなく言いたいことはわか る気がしますが。対して「おもてなし」を重要に考え る日本の場合、「AI」コールセンターなんか「ふざけ るな!」なんて事になりそうですね。私も、それは勘 弁して欲しい気がしますが、世界から取り残されるの ではないか?なんて心配もされていました。

もひとつ、中国のある「AI」サービスに「共産党

万歳」と話しかけると「あのように腐敗し、無価値な政治制度が長持ちすると思うのですか」と、とんでもない回答が出たとニュースになりました。後に「再教育」されたそうで「その話はよしましょう」となるそうです。また、Facebookの「AI」ボブとアリスに「AI」同士で会話させたら、人間では理解不能な言語で会話し始めたそうです。何だか怖い話です。両方ともまだまだデータベース検索機の域を出ているわけではないので現時点では心配無用ですが、かのホーキング博士も「AI」の自我により人類滅亡なんて警鐘を鳴らしているのも事実です。

さて、肝心の仕事「AI」についてです。これは前 述とは少し異なり、言ってしまえば「高度な統計処理」 みたいな物かなと理解しています。筑波大学の先生日 く「色々なデータ処理方法 |があるそうで、「コンピュー タの進化」と「大量のデータが入手可能」が合わさっ て、統計的処理能力が一気に広がった事が「AI」第3 次ブームにつながったと分析されていました。私が今 扱っているのが「主成分分析」という統計的手法です が、マジですごいです。完全に人間の解析能力を凌駕 しています。もちろん「AI」がトンネル掘ってくれ るとか、橋掛けてくれるなんていうのは遥か先ですが、 建設施工において「データ解析 AI」が非常に重要と なっていく事は間違いないでしょう。ところで、困っ た面もあります。いわゆる「ブラックボックス化」で す。人間以上の解析能力がありますが、何をどうやっ て解析したかがわかりません。長年研究している人は、 理由はわからないけど解析できてしまうという「AI」 に納得するでしょうか?という事で、意味も分かる 「AI 解析」の研究も始まったとのことです。ただ、海 外、特に中国さんなんかは、問答無用で推し進めてい きそうな気がします。こういう時、日本人技術者の几 帳面さが仇になりそうで心配です。

解説というより雑感になってしまいましたが、最近 「AI」にはワクワクさせてもらっています。

-----きょうめん つぐひこ 佐藤工業㈱ 土木事業本部 ICT 推進部 (機電アドバイザー) ----